Value Creation

パラマウントの価値創造

医療用ベッドのパイオニアとして、歩みを進めてきたパラマウント。
時代の変化に寄り添いながら、わたしたちが培ってきた強みやビジネスモデルは、
決して揺らぐことのない普遍的な価値の結晶です。
これまでの歴史を未来へとつなぎ、さらなる成長を遂げるために。
確かな基盤を軸に、私たちはこれからも新たな価値を生み出し続けます。

私たちのあゆみ

1940年～

事業による社会貢献という企業文化

日本における医療用ベッドのパイオニアとして、1947年に「木村寝台製作所」を創業。創業者木村隆輔が自ら開発責任者として日本の医療・看護システムや日本人の体型に合わせたギャッチベッドを開発し、ブランド名として「パラマウントベッド」と名付けました。

1947

木村寝台製作所を創業

1962

国産第一号となる
電動ベッドを開発

1960年～

技術開発の近代化で国内トップメーカーへ

患者の快適な療養生活に役立つベッドを開発するため、アメリカを視察して技術や生産体制のノウハウを学び、1966年には千葉県に大規模工場を新設。性能・品質に優れたベッドを大量に提供できる体制を確立し、リーディングカンパニーとしての地位を築きました。

1966

千葉県に大規模工場を新設

1968

貿易部門を新設
国際事業を開始

1980年～

高齢化で広がる在宅介護関連ニーズに対応

日本が高齢化社会の始まりを迎えたことを背景に、当社は社会的ニーズにいち早く対応するため、介護事業を開始。現在でも当社の定番製品となっている自動採尿器「スカットクリーン」や、業界で初めて在宅介護用の電動ベッド「アウラ電動ベッド」などを発売しました。

1983

業界初の在宅介護用
電動ベッドを開発

1987

— As human, for human —
PARAMOUNT BED

商号の変更と株式公開

介護事業

海外展開

医療事業

2000年～

上質な眠りを提案する健康事業を始動

当社は2000年に新しい企業理念を制定するとともに、医療だけでなく健康まで包括する「ヘルスケア」という概念を再認識しました。2003年には“上質な眠りと健康”を提案する新ブランドを始動。健康志向のベッドルーム・インテリア市場に参入しました。

2002
パラテクノ株式会社を設立

2003
一般家庭向けブランド開発

2007
福祉用具のレンタル卸事業に参入
（現、パラマウントケアサービス株式会社）

2010年～

テクノロジーの力ですべての人により良い睡眠を

近年では、ICT搭載の在宅介護ベッドや、被介護者の体動データをリアルタイムで共有できる「眠りCONNECT」など、テクノロジーを活用した新サービス群を展開。健康事業からも新ブランド「Active Sleep」を開発し、製品・サービスの拡充を図っています。

2011
持株会社体制への移行

2023
「眠りCONNECT」の
提供を開始

2025
「楽匠Fitシリーズ」を発売

2016
「スマートベッドシステム」を
開発

2024
「Active Sleep BED」
フルモデルチェンジ

パラマウント
ビジョン
2030

「医療」「介護」から「健康」まで　すべての人に笑顔を

健康事業

事業の多角化
（サービス・リカーリング強化）

グローバル化の加速

製品・サービスのICT化

健康事業
介護事業
海外展開
医療事業

価値創造プロセス

企業理念

先進の技術と優しさで、
快適なヘルスケア環境を創造します

社会課題

人口構造の変化
- 日本と世界の高齢化・長寿化
- 人口減・労働者不足
- アジアの成長

価値観の変化
- ダイバーシティ
- ワークライフバランス
- 働き方改革
- ESG・SDGsへの取り組み

INPUT
- 人的資本
- 知的資本
- 製造資本
- 自然資本
- 社会関係資本
- 財務資本

ビジネスモデル

P.19

あらゆる人のウェルビーイングを叶える事業を展開

継続的なモニタリング
アフターケア
生活者
あらゆる「人」に寄り添う
患者 療養者
予知・予防
治療

健康事業
医療事業
介護事業

培ってきた強み

P.18

6つのマテリアリティ

1. 持続的な医療・介護体制整備の支援
2. すべての人が健康でいきいきと暮らせる環境づくり
3. 製品安全の追求
4. 従業員の健康・ダイバーシティ・働き方改革の推進
5. 環境に配慮した事業活動
6. コンプライアンスの徹底

Business Sustainability

事業によるサステナビリティ

P.24

WELL-BEING for all beings

OUTCOME
提供価値

事業価値
- お客さまとの強固な信頼関係
- 健全な財務指標、非財務指標

社会価値
- 病院・介護施設等の経営改善、療養環境改善
- 看護・介護する方の負担軽減
- 患者の早い社会復帰
- 介護される方の高いQOL
- いきいきとした暮らし・健康寿命延伸・睡眠改善

環境価値
- 事業活動における環境負荷低減
- 循環型社会実現への貢献

Vision

事業紹介

医療事業

患者が心地よく過ごすことができ、
医療従事者が専門業務に集中できる。
医療施設向けの製品・サービスを通じて
患者のケアや病院運営をサポートします。

●医療機関向けの製品・サービス

一般病棟から救命救急やICUなどの高度急性期医療、周産期や新生児・小児医療、リハビリテーションなど。国内外のさまざまな医療現場に対して、各現場で求められる幅広い製品・サービスを提供しています。

●医療施設内業務の効率化支援

患者のバイタルサインを統合管理し看護業務の負担軽減に寄与する「スマートベッドシステム」で、医療施設内の業務および患者満足度向上をサポートします。

●患者満足度向上・経営支援

病院経営を支える「アメニティ」「スタッフィング」「デジタル・センシング」の3つの提供価値で、病院の設備投資負担の軽減、スタッフの業務負担の低減、医療安全に寄与します。

介護事業

介護施設向けや在宅介護向けの
幅広い製品・サービスの提供により
利用者の療養環境整備や
事業者の業務効率化に貢献します。

●先進テクノロジーによる介護施設DXの推進

「眠りCONNECT」や「トイレDIARY」などの見守り・排泄センサーを活用し、介護施設におけるケアの質向上と大幅な業務効率化を実現。職員の負担を軽減し、入居者の尊厳を守る次世代のケアを確立します。

●進化を続ける介護用ベッド「楽匠Fitシリーズ」

長年の研究から生まれた「楽匠Fitシリーズ」は、身体のズレや圧迫感を画期的に軽減する独自の背上げ機構を搭載。利用者の快適な療養環境と、介護側の動作サポートを両立させ、業界のスタンダードを牽引しています。

●在宅介護の基盤を支える福祉用具レンタル卸

全国の福祉用具貸与事業者への販売・レンタル卸を通じて、ご自宅での自立した暮らしをサポート。高品質なベッドやマットレスを安定供給し、日本の在宅介護インフラを現場の最前線から強固に支えています。

事業紹介

健康事業

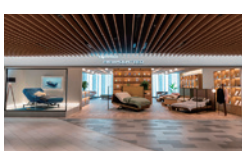
健康な人生を送り、
医療や介護の必要が少ない世界へ。
睡眠研究の成果を生かし、
その人らしい豊かな暮らしを支えます。

●「Active Sleep」による理想の睡眠サポート

「パラマウントベッド睡眠研究所」による長年の研究成果とエビデンスに基づき、一人ひとりの理想の眠りをサポートするブランド「Active Sleep」を展開。独自のセンシング技術とベッドの自動運転機能などを融合させ、データに裏打ちされた確かなアプローチで質の高い睡眠環境を提供します。

●生活者との接点を広げる体験チャネルの拡大

生活者が製品を体感できる場を量・質ともに強化。新規出店だけでなく、宿泊施設や娯楽施設といった新たな体験チャネルの開拓を推進しています。



●CVC活用による予防医療・新規事業への挑戦

CVCを活用した異業種連携により、睡眠課題へのアプローチを加速。多様なライフスタイルにおける睡眠の悩みに対応する予防医療サービスを共創し、あらゆる生活者に必要とされる新規事業の開発に挑戦します。

海外展開

日本の確かな品質を世界中へ。
現地の医療・介護ニーズに深く寄り添い、
最適な製品とサービスを通じて、
国境を超えたウェルビーイングを支えます。

●110カ国以上の実績と築き上げた信頼

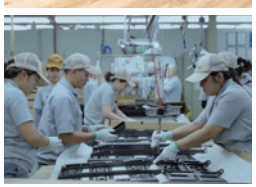
1968年の海外進出以来、製品の納入実績国は110カ国以上にのぼります。半世紀以上にわたり世界の医療・介護現場を支援してきた確かな品質とブランド認知を強みに、グローバルな市場を牽引しています。

●アジア注力エリアでの現地化と自社工場

インドネシア、中国、インド等に拠点を構え現地化を推進。特にインドでは工場を拡張。進出国の多くで医療用電動ベッド分野においてトップシェアを獲得しています。現地に自社工場を持つ強みを生かし、市場変化に迅速に対応します。

●需要を捉えるローカライズと先端技術

中国での電動化を促す新機種投入や、ITインフラが進むインドへの「スマートベッドシステム」展開など市場特性に合わせた戦略を徹底。普及型から高機能モデルまで現地のニーズに応える製品を投入しています。



培ってきた強み

真の課題解決を追い求めて、わたしたちのサービスは広がり続けています。ベッドの開発・販売にとどまらず、ヘルスケア環境に必要なさまざまな製品から病院運営の支援まで。すべては患者、医療従事者、介護事業者など、誰もが快適に活動できるようにするためです。さらに、当社グループ間の連携によるワンストップなサービス提供と、現場の声を生かした品質向上を実現しています。長年にわたり業界をリードし続けてきた、パラマウントベッドグループにしかない強みであると自負しています。

01

ワンストップ ソリューション体制

グループ間のシームレスな連携

ベッドを主軸としたヘルスケア環境に必要な製品・サービスを、企画→開発→製造→販売・レンタル、そして提供後の品質管理やメンテナンスからアフターフォローまで、顧客のニーズや課題に対して高次元のソリューションを提案。ワンストップで提供できる体制を構築しています。

02

顧客基盤

オンリーワンな業界ネットワーク

医療施設、医療機器ディーラー、介護施設、福祉用具貸与事業者およびレンタル卸事業者、医療・介護・健康の各事業における販売店などの皆さまと、長年にわたって強固な信頼関係を築いてきました。自社だけでは気づけないニーズや思いつかないアイデアを共有し、ともに社会課題へ取り組んでいます。

03

優しさを 価値に変える力

創業から変わらない社会貢献への使命感

わたしたちの事業を取り巻く環境は、時代とともに多様化・複雑化しています。しかし約80年にわたり、「社業を通じた社会貢献」という変わらない信念を持ち続けることで、柔軟に対応してきました。これからもその想いのもと、社会で必要とされる会社となるために、現場や利用者のお困りごとに寄り添い続けます。

ビジネスモデル

PARAMOUNT BED HOLDINGS

PARAMOUNT BED
医療・介護用ベッドやマットレス、病室用家具、医療用器具備品等の開発・製造および販売。

PARATECHNO
医療・介護用ベッドをはじめとするグループ製品の配送や設置、点検・メンテナンス業務。

PARAMOUNT CARE SERVICE
福祉用具レンタル事業者向けの介護ベッドや車いす等の適切な卸レンタルおよび保守管理。

- ●医療機器ディーラー
- ●福祉用具販売店
  ・貸与事業者
  ・レンタル卸事業者
- ●百貨店・家具店
  ECサイト

- ●医療施設
  （医療スタッフ・患者）
- ●介護施設
  （介護スタッフ・入居者）
- ●在宅介護
  （介護者・利用者）
- ●一般利用者

現場の意見・アイデア

ワンストップソリューション体制

企画 マーケティング力 ／ 先進の技術力 ／ 顧客に寄り添い応える 提案力・営業力 ／ 適時適切に供給できる 生産・物流体制 ／ メンテナンス・ 品質管理 ／ アフター体制

FEATURE 1 強みを支える研究力

「睡眠」をとことん研究し、毎日のウェルビーイングを支える

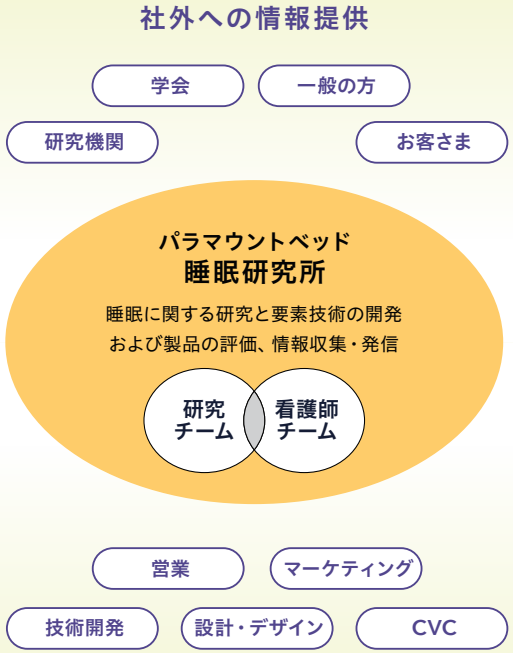
スリープテックの現在地

「昨晩はぐっすり眠れて、今日は元気いっぱい！」。最近、心からそう感じたことはありますか？日本は「睡眠負債大国」と呼ばれ、2021年の経済協力開発機構（OECD）の調査では、日本人の平均睡眠時間は7時間22分と加盟33カ国の中で最も短いことが報告されました。睡眠不足は生活習慣病やうつ病、認知症などのリスクを高めるだけでなく、国民一人当たりの国民総生産（GDP）とも相関しており、日本における睡眠不足の経済損失は年間15兆～20兆円にのぼると試算されています。

近年、健康意識の高まりからスマートウォッチなどによる「睡眠トラッキング」が身近になりました。しかし、単に睡眠を「計測」するだけでは睡眠不足の解決にはいたりません。「何が原因なのか」「改善のためにどう行動すべきか」という、データから価値あるインサイトを導き出し、生活や医療の現場に還元することこそが、今スリープテック※に求められている真の現在地です。

理工学×臨床の専門家集団「パラマウントベッド睡眠研究所」

当社グループは1947年の創業以来、医療用ベッドのパイオニアとして現場を支えてきました。その歩みの中で、より多くの人々のウェルビーイングに貢献するため、2000年代から睡眠研究を本格化。



2009年には「睡眠に関わる課題を解決する」を使命に「パラマウントベッド睡眠研究所」を設立しました。

当研究所の強みは、理工学系の博士・修士号を持つ研究チームと、臨床経験を持つ看護師チームが融合している点にあります。この異分野のプロ同士が密に議論を重ねることで、技術的なイノベーションと医療・介護現場での実用性を高度に両立。社内の各部署と連携して社会の潜在ニーズをいち早くキャッチし、学術的な理論と現場視点の双方から研究を実践しています。これまで、何も装着せずに睡眠状態を把握できるシート型体動センサや、楽な寝返りを支える「等反発マットレス」、睡眠に合わせてベッドの角度を変える「眠りの自動運転ベッド」など、数々の革新的な製品・機能を社会に送り出してきました。

命の現場から食卓まで、テクノロジーで未来を切り拓く

現在、私たちの研究はさらなる進化を遂げています。当社独自の体動検知技術を発展させ、睡眠中の「体を掻く行動」を検知して不眠の原因を特定する研究や、心不全の増悪を早期発見するアルゴリズムの開発を完了・推進しています。さらに、終末期がん患者を対象に、呼吸や心拍の定量データからAIを活用して「最期の時」を正確に予測する研究にも挑戦しています。人手による判断の限界をテクノロジーが補うことで、医療スタッフの業務負荷を軽減するとともに、ご本人やご家族の生活の質（QOL）が向上した社会の実現を目指します。

また、医療・介護の場にとどまらず、2025年3月には日清食品株式会社と「『食』と『睡眠』によるウェルビーイング向上プロジェクト」を始動。個人の価値観に応じた最適な行動を提案するオンラインチェックツールを共同開発し、2026年に公開しました。睡眠に関する専門的な知見を「食」という日常の営みに掛け合わせることで、アプローチの領域を大きく拡大しています。1日24時間という限られた時間の中で、エビデンスに基づく豊かなライフスタイルを提案し、社会全体のウェルビーイングに貢献していきます。

※Sleep（睡眠）と Technology（技術）を組み合わせた造語で、IT技術やAIなどを活用して睡眠の質を向上させる製品やサービスのこと。

場所はどこであれ当社の体動センサの上で最期を迎える、これが私の夢です。そういったことが当然になるくらい、当社独自のセンシング技術を社会に普及させたいという想いがあるからです。私は2001年に当社グループに入社して以来、製品開発にたずさわってきました。そして、2009年の睡眠研究所の立ち上げにも参加しています。当時から日本が抱える睡眠の課題は解決されていません。日本では当たり前のようになっている“日中の眠気”は、欧米では体調不良と見なされる、正常ではない状態なのです。課題は山積みですが、体動センサや自動運転ベッドなど当社製品が活用されることが課題解決に貢献すると信じています。研究所や当社グループの仲間たちとともに、一つずつ解決し、多くの人のウェルビーイングを支援していきたいです。

FEATURE 2 強みを支える共創力

“投資”から“共創”へ深化するCVC

シナジー創出で革新に挑む

当社グループは、SBIインベストメント株式会社と共同でCVC（コーポレート・ベンチャー・キャピタル）ファンドを運営しています。誰もが笑顔で安心して生活できる社会の実現を目指し、スタートアップ企業との事業シナジーを創出することで、従来のパラマウントベッドグループだけでは成し得ないイノベーションに挑みます。

2022年に設立した当ファンドは探索テーマとして「ケアする人のサポート」と「睡眠とのシナジー」を掲げながら投資実績を積み上げ、ヘルスケア領域の未来を創るスタートアップ企業の成長を後押しします。

〈 主な探索テーマと投資実績 〉

ケアする人のサポート

- betterplace — 中小企業向け福利厚生
- 医療の今を変える。CROSS SYNC — 重症患者の遠隔モニタリング
- contrea — 診察・入院説明
- とはなす株式会社 — 医療・介護の職場環境改善

睡眠とのシナジー

- RENTIAL — リカバリーウェア
- SLIMIN — 睡眠解析
- SISI — 化粧品
- Runtrip — ランニングアプリ

CVCを通じた連携事例

2026年に第5期を迎え実績を積み上げてきたことで、投資先との関係性は“投資”から“共創”へと深化しつつあります。当社がこれまでお世話になってきた「ケアする人」に対する協業具体例の一つが、中小企業向け企業年金制度「はぐくみ企業年金」の導入支援を行う株式会社ベター・プレイスとの協業です。同社との連携を通してわたしたちは人材の定着や働く環境の整備が課題となっている医療・介護業界に対し、経済的な安心を提供することで、スタッフの皆さまが安心して長く働き続けられる職場づくりを支援してまいります。

投資実績 19社

2026年6月時点

パラマウントベッド Healthcare Fund

公式サイト

当社がファンドを設立した大きな目的は、新しい挑戦を推進する社内環境をつくることです。例えば、各部署とのミーティングを積極的に設け、情報交換や新サービスの探索を盛んに行っています。また、日々のトレンドを中心とした情報共有を毎朝発信し、社内から多くの反応が寄せられています。今後もオープンイノベーションを後押しし、当社事業シナジーの最大化を目指します。

また、パラマウントベッドが強みとする「睡眠」を軸とした領域においては、株式会社TENTIALとの取り組みがあります。同社はリカバリーウェアをはじめとしたウェルネスブランド事業を展開しており、当社は睡眠研究所とのモニター評価などを通じてプロモーションで連携しました。同社は2025年2月に東証グロース市場での新規上場を達成しました。

2025年にはウェルネス領域における新たな価値創造を目指し、ランニングアプリを運営する株式会社ラントリップへの出資を行いました。同社がリーチするランナーに対して、「運動」と「睡眠」を掛け合わせたサービスや商品を開発することで、より多くの人々の健康づくりに貢献し、幅広い世代へのウェルビーイング向上に寄与していきます。

価値最大化の実行フェースへ

当ファンドの目的は、単なる“投資”ではありません。外部と連携しながら新しい価値を生む“共創”により、当社グループが目指す「コミュニケーションを尽くす風土」と「挑戦を援ける風土」をつくることです。若手が中心となってオープンイノベーションを加速し、新たな技術の知見を取り入れることで、パラマウントベッドブランドの付加価値向上を図るとともに、ボトムアップ型経営へのシフトにもつなげたい考えです。当ファンドは今後、ビジョン実現に向けて価値共創の最大化を目指していきます。